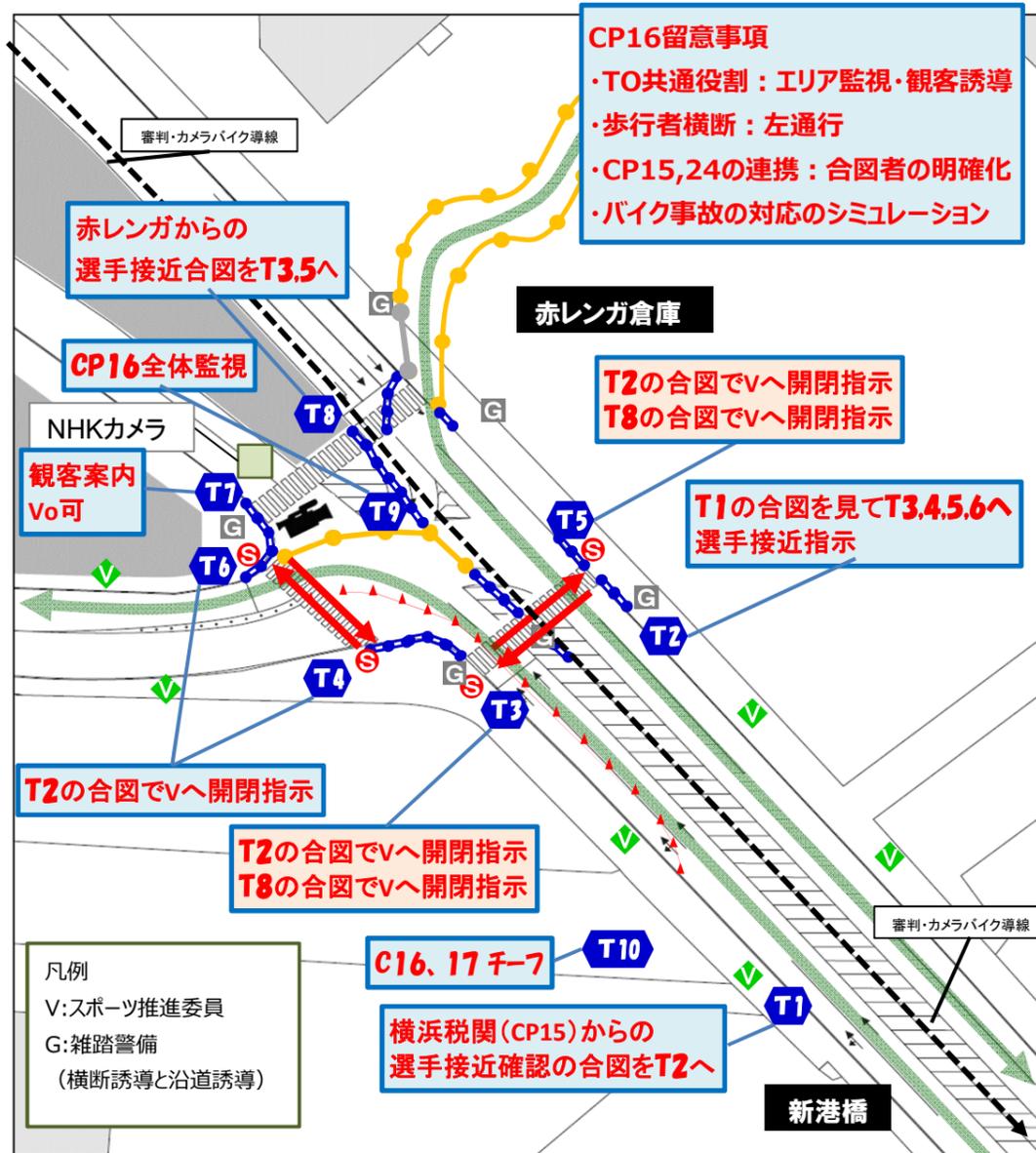
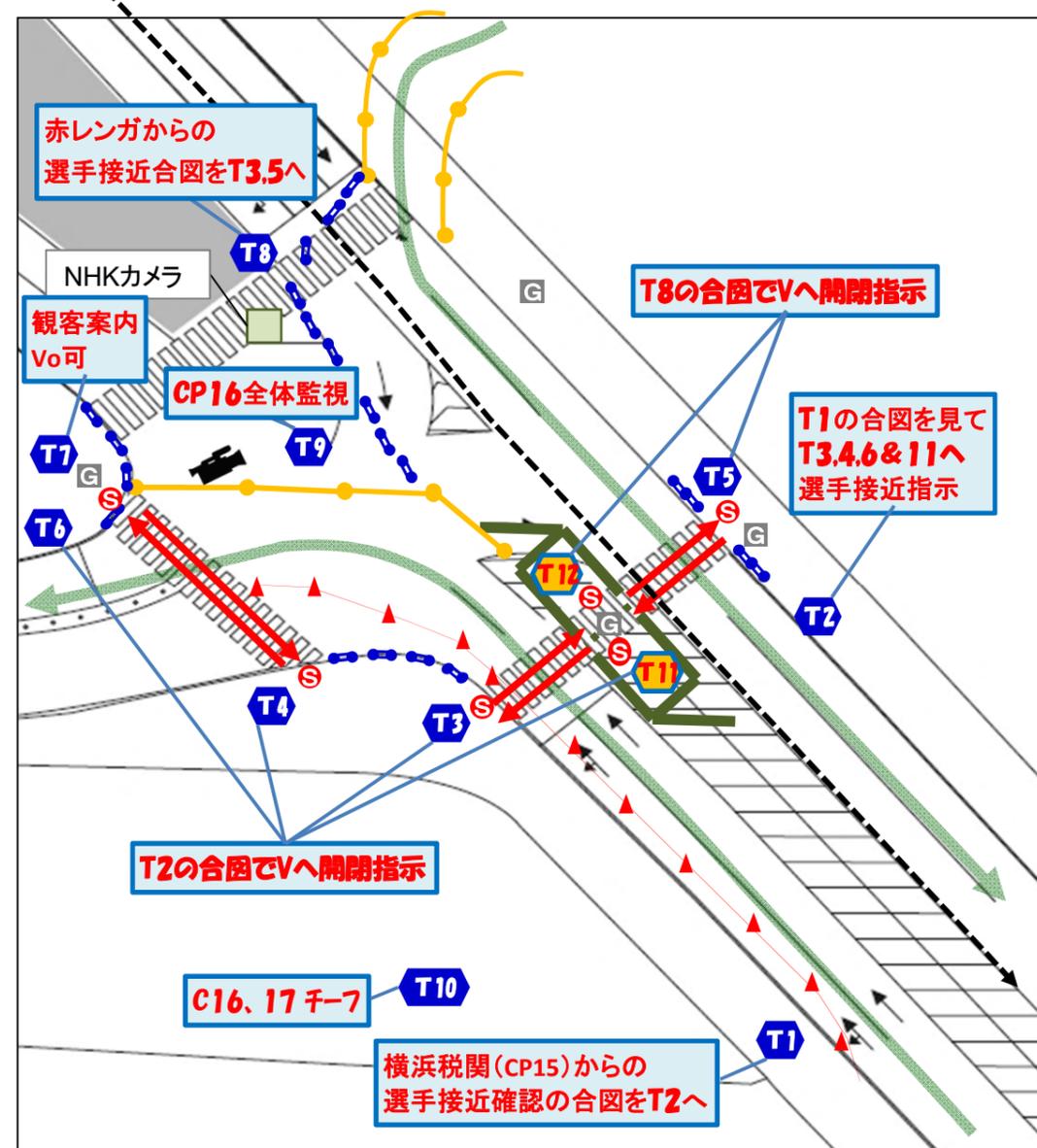


## CP16 現行TO配置案



## CP16 歩行者待機島TO配置案



2019 TOLレポートより(山田が抜粋)

<問題点> ・行と帰りの合図を一人のTOでは無理なので、二人のTOにより行の合図と帰りの合図を行った。(山田：受ける方も無理があると思われます。)

・行と帰りの両方向の規制は間が非常に長くなった。一般の人や観客からの苦情も有った。・観戦者・応援者だけでなく観光客も多い。捌ききれない場面が生じた。

・一般横断人数が多いにもかかわらずスタッフが少ないのでは。・黄色フラッグが少なくフラッグによるT o 同士の合図が一部できなかった。・老人がもたつき、選手通過時にコース上に取り残された。

<改善点> ・CP16ではTO1人の増員が必要。・赤レンガ倉庫前の横断路では、行と帰りの選手が同時に通過するので合図用の旗の色は2色必要。

・横断者数が増えた時を想定し、プラ策開閉により操作を2枚(2名)で行う。・最初から右側ないし左側通行と決める。・歩道上に「→」をガムテープで仕切り右側通行を徹底する。

・横断歩道を渡り切れない老人のために、エイジバイクコース「C-1 4」のように中央に緩衝地帯を設ける。または、TOを横断歩道の中央に1名増員。